

A network diagram with several blue nodes connected by thin lines. One node in the lower-left quadrant is highlighted in green. The background is a light blue grid.

カンファレンスコール用資料

2008年度 第1四半期決算

(2008年4月1日～2008年6月30日)

開催日時 2008年7月31日(木)
18:00～18:45



第一三共株式会社

2008年度 第1四半期（前年同期との比較）

（単位：億円、金額上段は対売上高構成比）

	2007年度 第1四半期				2008年度 第1四半期			
	①	非医薬品 事業	欧州子会社 決算期変更	特殊要素 除外後②	③	単純比較	実質比較	備考
						③-①	③-②	
純売上高	100.0% 2,355	100.0% 81	100.0% 141	100.0% 2,133	100.0% 2,037	-318	-96	提携品目の返還(-43億円)、円高影響(約-90億円)、薬価改定影響(約-80億円)といった減収要素が、販売数量拡大、AZOR一時金収入(47億円)などの増収要素を相殺。
売上原価	24.6% 579	87.4% 71	25.7% 36	22.1% 472	23.9% 486	-92	15	原価率+1.8P ('07.10月からパナルジンの取引スキームを変更したことなどによる)
販管費	32.7% 771	12.3% 10	58.7% 83	31.8% 678	38.4% 782	11	103	・第一三共 +28億円 (退職給付費用増等) ・DSI +46億円 (要員'07.6末1,813→'08.6末2,667人) ・DSE +25億円 (減価償却費等増)
研究開発費	13.9% 327	2.9% 2	2.3% 3	15.1% 322	18.1% 369	42	47	プラスゲレル分が減少する一方、デノスマブ、CS-8635分等増
販管費計	46.6% 1,099	15.2% 12	61.0% 86	46.9% 1,000	56.5% 1,151	52	151	
営業利益	28.8% 678	-2.5% -2	13.3% 19	31.0% 662	19.6% 400	-278	-261	
経常利益	30.4% 717	-2.7% -2	15.4% 22	32.7% 697	20.1% 409	-308	-289	・営業外収益 -20 ・営業外費用 +7
当期純利益	17.6% 414	15.9% 13	14.3% 20	17.9% 381	12.3% 251	-163	-130	・特別利益 -22 (固定資産売却益 -13億円) ・特別損失 -27 (事業統合関連損失 -26億円)

* 本資料では、2007年度までにグループ外化した非医薬品事業の業績、並びに欧州子会社の決算期変更による影響を特殊要素としてとらえています。従いまして、実質的な比較を容易にするために、これらの影響を除外した業績を特殊要素除外後として表示しております。

2008年度 業績予想 並びに 第1四半期進捗状況

(単位：億円、金額上段は対前年同期比率)

	2008年度 上半期 業績予想				2008年度 下半期 業績予想	2008年度 業績予想
	第1四半期 実績	対上半期 進捗率	第2四半期 見込			
純売上高	<-4.5> 2,037	50.9%	<-1.8> 1,963	<-3.2> 4,000	<4.6> 4,400	<0.7> 8,400
売上原価	<3.2> 486	48.4%	<8.5> 519	<5.8> 1,005	<-0.1> 1,080	<2.7> 2,085
販管費	<15.2> 782	47.5%	<7.6> 863	<11.1> 1,645	<1.6> 1,680	<6.1> 3,325
研究開発費	<14.7> 369	43.4%	<6.2> 481	<9.7> 850	<-1.1> 840	<4.1> 1,690
販管費計	<15.1> 1,151	46.1%	<7.1> 1,344	<10.6> 2,495	<0.7> 2,520	<5.4> 5,015
営業利益	<-39.5> 400	80.0%	<-62.4> 100	<-46.1> 500	<28.3> 800	<-16.2> 1,300
経常利益	<-41.4> 409	75.7%	<-55.5> 131	<-45.6> 540	<23.8> 840	<-17.4> 1,380
当期純利益	<-34.2> 251	83.6%	<-74.3> 49	<-47.6> 300	<32.1> 500	<-15.9> 800

* 2008年度業績予想は5月公表値から変更無
* 対前年同期比率は特殊要因除外後の実質比較

主要製品の状況

(単位：億円)

商品名	2007年度	2008年度 予想		2008年度 第1四半期 実績				
	第1四半期 実績①	年度 ②	上半期 ③	第1四半期 実績④	対前年同期増減			
					対上期 進捗率 ④/③	単純比較 ④-①	実質比較	
GLOBAL	オルメサルタン <高血圧症治療剤>	531	2,140	1,000	507	50.7%	-24	40
	レボフロキサシン<合成抗菌剤>	295	1,040	500	258	51.5%	-37	-37
	プラバスタチン <高コレステロール血症治療剤>	217	625	330	161	48.7%	-56	-40
日本	カルブロク <高血圧症治療剤>	25	140	70	30	43.1%	5	5
	アーティスト <高血圧症治療剤>	55	220	110	57	51.6%	2	2
	クレメジン <慢性腎不全用剤>	31	140	60	32	53.0%	1	1
	ロキソニン <消炎鎮痛解熱剤>	83	390	190	84	44.4%	2	2
	オムニパーク <造影剤>	82	280	140	73	52.1%	-9	-9
	ユリーフ <排尿障害改善剤>	11	90	40	18	44.0%	7	7
米国	ヴェノファー <貧血治療剤>	68	230	115	83	72.5%	16	16
	ウェルコール <高コレステロール血症治療剤 /糖尿病治療剤>	58	250	115	64	56.0%	6	6

注：決算期変更により2007年度第1四半期はDSEについて、2007年1月～2007年6月の6ヶ月分を計上。
また、これらによる影響を除外した増減額を実質比較として表示。

主要開発品目一覧表

	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	承認申請中
循環器	<ul style="list-style-type: none"> CS-8080 DB-772d 	<ul style="list-style-type: none"> <u>DU-176b</u> オルメテック/ 利尿剤合剤 (#) 	<ul style="list-style-type: none"> <u>CS-8635</u> オルメテック効能追加 (#) ＜糖尿病性腎症＞ オルメテック/カルブブロック合剤 (#) 	<ul style="list-style-type: none"> <u>フラスグレル</u> セビカー (欧)
糖代謝		<ul style="list-style-type: none"> AJD101 	<ul style="list-style-type: none"> リホクリタゾン 	
感染症		<ul style="list-style-type: none"> CS-8958 	<ul style="list-style-type: none"> レホフロキサシ注 (#) 	<ul style="list-style-type: none"> レホフロキサシ 高用量 (#)
がん	<ul style="list-style-type: none"> CS-7017 ニモズマブ (#) U3-1287 	<ul style="list-style-type: none"> CS-1008 		
免疫・アレルギー	<ul style="list-style-type: none"> CS-0777 SUN13834 			
骨・関節			<ul style="list-style-type: none"> <u>デノスマブ (#)</u> ロキソニゲル (#) 	
その他		<ul style="list-style-type: none"> ヒトクレリン 	<ul style="list-style-type: none"> マンチン塩酸塩 (#) シロトシ 	<ul style="list-style-type: none"> フィロン/リハヒリン 併用療法 (#)
合計	7	6	9	4

#: 日本でのみの開発

- グローバル(日本以外)で開発している課題に関しては、最も進んだステージのみ記載
- アンダーライン(青字)は現在の優先プロジェクト

2008年5月
以降の変更点

- 新規追加 U3-1287
- ステージ変更 ヒオアテン(日)効能追加承認取得
- 開発中止 ファロヘネムトキシミル

2008年度 第一三共主催 主要イベント

内容	日付
四半期決算発表	<ul style="list-style-type: none">・ 第2四半期：2008年10月31日 (金)・ 第3四半期：2009年01月30日 (金)
経営戦略説明会	<ul style="list-style-type: none">・ 2008年10月8日 (水) <p>13:30~15:30 於：経団連会館</p>
R D説明会	<ul style="list-style-type: none">・ 2009年02月下旬予定

* 四半期決算発表は東証への報告後、同日夕刻に
テレフォンカンファレンスにて実施予定。(CC部)

本資料に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-6225-1126

FAX: 03-6225-1132

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

つくっているのは、希望です。



第一三共株式会社